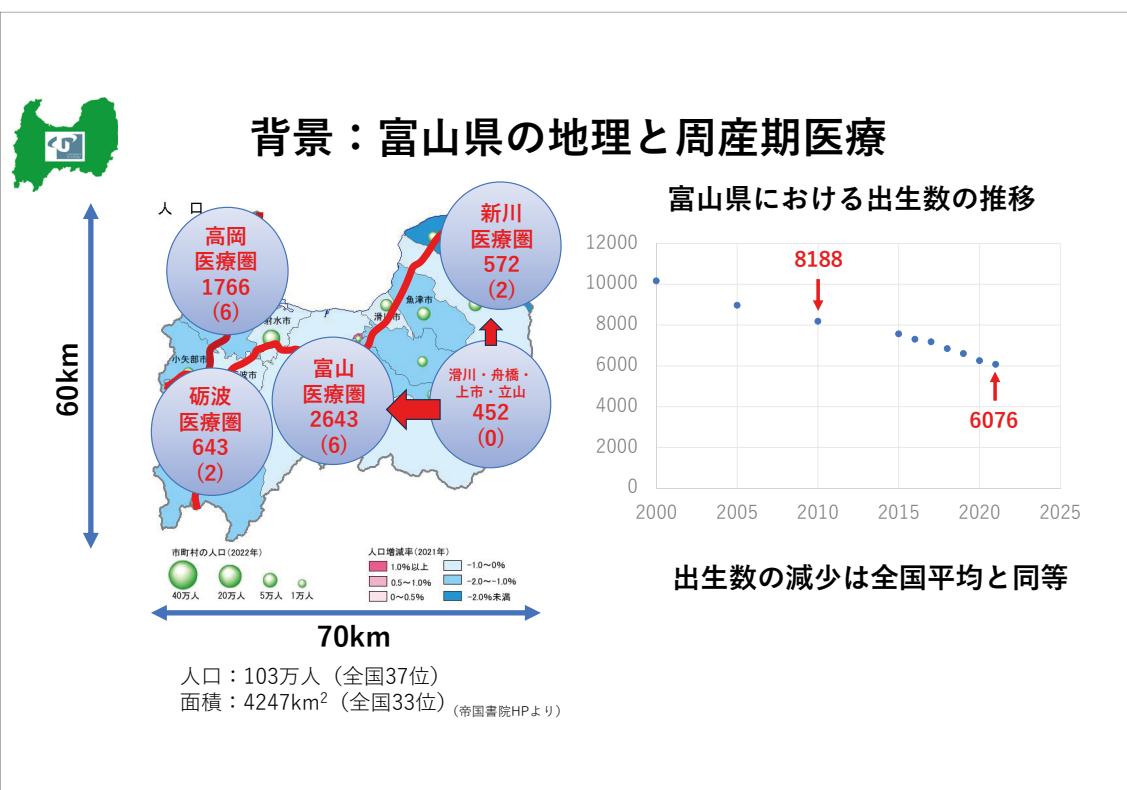


富山大学・富山県による 産婦人科医確保への取り組み

富山大学産婦人科
産婦人科 兼 地域医療総合支援学講座

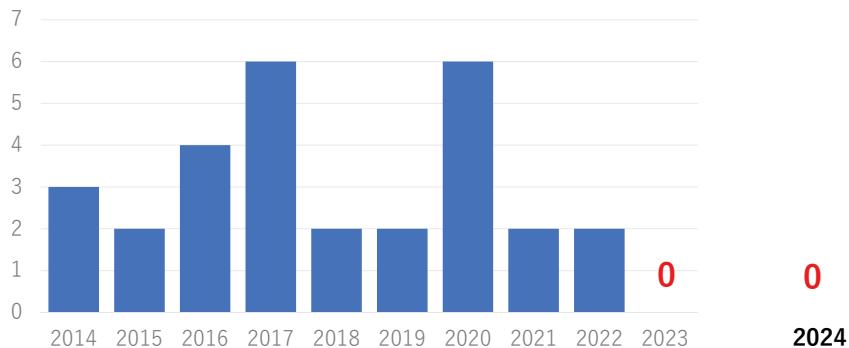
中島彰俊
竹村京子





背景：富山大学産婦人科医局

富山大学産婦人科入局者数



富山県の産婦人科医数は減少（定年退職者あり）
働き方改革の実施（2024年度）



対策を講じなければ
富山県の産婦人科医療を
守れなくなる！



富山大学産婦人科が“選ばれない”理由を調査

産婦人科も選択肢
に入っていたが選
ばなかった研修医
の声（2023年度か
ら専攻医）

産婦人科は
いつも忙しそう

女性医師が
キラキラして
ないからで
はないか？

大学内外の
産婦人科医の声

当直をしていく
自信がない

大学の医者はす
ごく忙しそうだ
から、学生が嫌
がっているよ

産婦人科に興味
があるという
学生は結構いる
けどね

こんなに忙しく
て出産・子育て
をしていく自信
がない

富山大学産婦人科 = ブラック



富山大学産婦人科が“選ばれるため”の基本方針

1. 産婦人科の魅力を伝える！

ブラックなイメージを変えることは簡単ではありません
産婦人科に魅力を持ってもらい、産婦人科に来てもらうことで
産婦人科の楽しさ >> 夜間当直業務（無くせないもの）を伝える

2. ブラックではない働き方の実践

- 働き方改革ができる限り遵守していく体制の変更
- ・産婦人科 1 – 2 名（総合病院）での分娩の取りやめ
 - ・分娩数の少ない市民病院（産婦人科医 4 – 5 名）→婦人科手術のみ
→人員の再配置
 - ・退職医師の再雇用の促進
 - ・県内出身産婦人科医への声かけ
- ➡ 現状は一時的な対応であり“新規産婦人科の確保”が本質的に重要



富山県の産婦人科に関わる部署

富山県： 厚生部・周産期医療対策協議会

富山大学附属病院 地域医療総合支援学講座
(富山県寄附講座：2017年度に設置、現在第3期目)

富山大学入学試験：特別枠・地域枠・富山県一般枠

富山大学産婦人科（学会・医会・同門会）



富山大学附属病院 地域医療総合支援学講座の目的

- ① 「地域医療総合支援センター」を運営、富山大学の医師派遣を一元管理し、医師を適正に派遣する。
- ② 「富山県医師適正配置等調査」等の医師の偏在調査・分析を行い、富山県の医師偏在の改善と地域医療構想の実現を目指す。
- ③ 地域枠・特別枠・富山県一般枠学生及び地域医療に貢献する意欲をもつ学生の医師キャリア形成を支援し、医師の富山県内定着を促進させる。



「富山県医師適正配置等調査」結果

調査分析方法

DPC データ

【対象診療科】(富山県公の24病院)
小児科、産科・婦人科、救急科、麻酔科、総合診療科、
内科（循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科）、
外科（心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科）、
脳神経外科、整形外科、放射線科（診断・治療）、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科



医師派遣状況の把握

❸ 各項目について、均等に担当したと仮定した場合の医師1名が担当する基準値を算出



結果-表2-1 R5年分析

産科の医療需要(分娩件数)と必要医師数

2次医療圏	分娩件数	常勤換算 医師数	必要医師数①	医師充足率①	医師不足数①
新川	515	7.1	9.5	74.9	2.4
富山	2,092	39.6	38.5	102.9	▲1.1
高岡	633	13.6	11.6	116.8	▲2.0
砺波	277	4.4	5.1	86.3	0.7
総計	3,517	64.7	64.7	100.0	0.0

結果-表2-2 R5年分析

産婦人科の医療需要(手術件数)と必要医師数

2次医療圏	手術件数	常勤換算 医師数	必要医師数①	医師充足率①	医師不足数①
新川	289	7.4	8.9	82.8	1.5
富山	1,153	42.3	35.6	118.7	▲6.7
高岡	645	15.3	19.9	76.8	4.6
砺波	202	5.7	6.2	91.8	0.5
総計	2,289	70.8	70.8	100.0	0.0

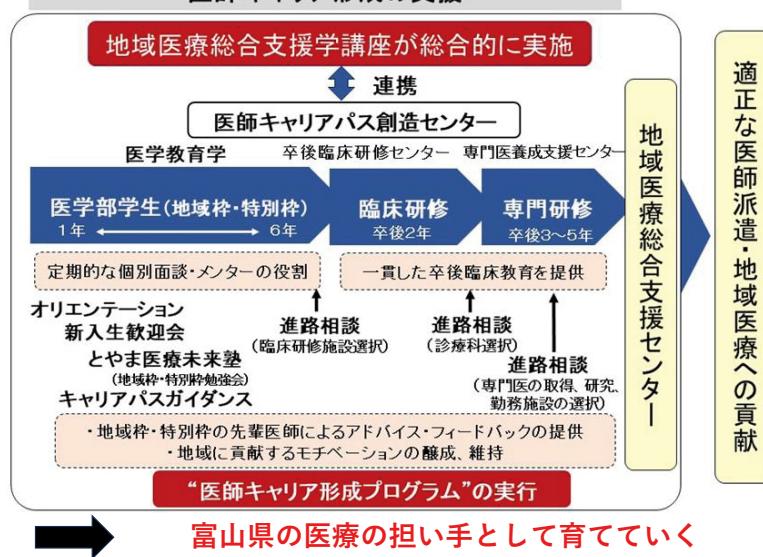


地域枠・富山県一般枠・特別枠（富山県）

	地域枠 (高校推薦枠)	富山県一般枠 (地域枠自己推薦枠)	特別枠
定員	15人	10人	10人 (臨時増員枠)
開始年度	2007年度～	2022年度～	2009年度～
修学資金の貸与	義務なし	義務なし	義務あり (修学資金)
富山県内の勤務年限	富山の医療に貢献すること（富山大学に3年間働くこと）	富山の医療に貢献すること（3年間富山大学働くこと）	11年間 (研修医2年+9年)
診療科の制限	なし（自由）	なし（自由）	小児科、産科、総合診療、救急科、外科、麻酔科、感染症科、脳神経外科、



地域枠・富山県一般枠・特別枠学生及び卒業生の医師キャリア形成の支援





特別な取り組み 地域医療に貢献する意欲を育てる

①とやま医療未来塾

県内の医療に携わる講師を招き、県内医療の現状や課題、各診療科毎の診療体制などについて学習する。



②キャリアパスガイダンス

県内で活躍する医師や地域枠・特別枠出身で頑張る医師を招き、自身のキャリア形成や各診療科のキャリア形成プログラムについて語ってもらう。

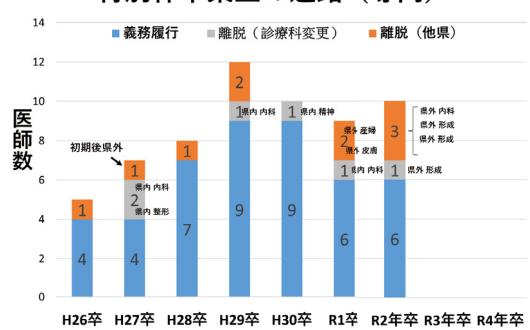


地域枠・特別枠学生の卒後進路

地域枠卒業生の進路（専門）



特別枠卒業生の進路（専門）

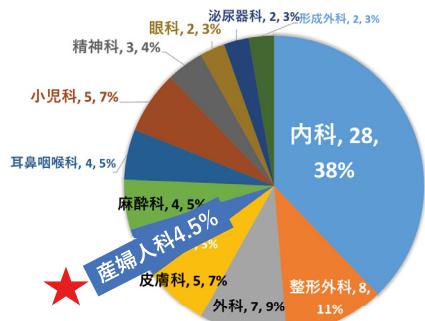


➡ 制限があっても県外離脱が増えているという実情が課題



地域枠・特別枠卒後進路

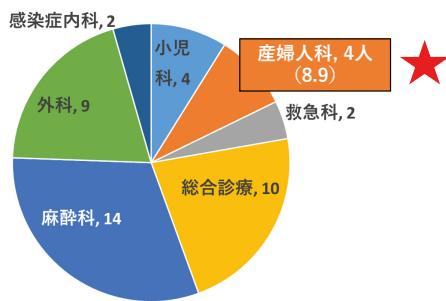
富山大学 地域枠卒業生の診療科選択



(富山大学で専門研修を選択した74名のデータ)

*新専門医制度前のデータも含む

富大特別枠卒業生の進路



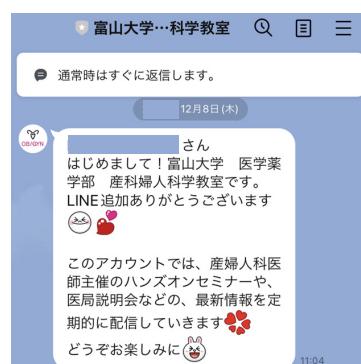
(1期生～7期生, 45人)

➡ 地域枠・特別枠医学生の興味を引くことは重要な方策の一つになり得る



富山大学産科婦人科での取り組み (大学および関連施設による若手グループ^⑤)

- 卒後10年目までの医師を中心にリクルートや若手教育活動を企画
(指導医は適宜協力)
- 月1回定例ミーティング
- 学生、研修医リクルート
としてLINE公式アカウント、
Instagram開設



LINE公式アカウント



Instagram



富山大学産科婦人科での取り組み実例 (大学・関連施設にて)

2023年 産婦人科の取り組み

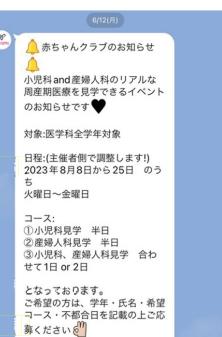
2/20(月)	産婦人科医って何をしているの? 座談会★縫合練習ハンズオン
3/14(火)	医師のダイバーシティ推進室 出産のベストタイミング(はい) 学内企画 協賛:富山県医師会 (大学)
3/18(土)	第5回若手のための北陸産婦人科セミナー“腹腔鏡、外科手術休中の医師に話を聞いてみよう! 座談会 (医局)
4/22(土)	子宮鏡で筋腫を取ってみよう TCRハンズオンセミナー (医局)
4/27(木)	第75回日本産科婦人科学会 学会参加、懇親会 全国規模(令和5年度第一回富山県産婦人科学会 参加してみよう!)
5/12-14	腹腔鏡下単純子宮全摘術を体験してみよう! 腹腔鏡ハンズオンセミナー (医局)
5/19(金)	北陸産科婦人科学会(富山大学主催) POP1ハンズオンセミナー (医局)
6/3(土)	医局説明会+ピアガーデン懇親会 産婦人科医と気軽にお話しできる機会 (医局)
6/30(金)	ハンズオンセミナー、分娩シミュレーターを使って分娩の経過を学ぶ (医局)
7/26(水)	ハンズオンセミナー、分娩シミュレーターを使って分娩の経過を学ぶ (医局)
8/19-20(日)	日本産科婦人科学会 スクール、懇親会 (に参加しよう!) 全日

8/8-8/25 赤ちゃんクラブ 産婦人科医と小児科医の働き方を見学してみよう!
(医学部学生を対象として産婦人科・NICUの一日常体験、毎日医師が一対一でアテンド) (医局+小児科)

8/21(木) 医師のダイバーシティ推進室 双子の育児について、プロトナントによる接遇講座 座談会 協賛:富山県医師会 (大学)

9/22-24 第70回北日本産科婦人科学会 学会発表、学会参加、懇親会 (北海道・東北・北陸)

9/30(土) 医師のダイバーシティ推進室 男性の育休について、キャリアアップとは? 座談会

学会参加 **ハンズオン** **独自の取り組み**

赤ちゃんクラブ

8月8日(火)	産婦人科	小児科
8月9日(水)	E	C
8月10日(木)	H	E
8月11日(金)	K	H
8月15日(火)		
8月16日(水)	G	A (AM)
8月17日(木)	L	B・K
8月18日(金)	B	L
8月22日(火)	J	F
8月23日(水)	F	J (AM) M (PM)
8月24日(木)	I	D (AM)
8月25日(金)	C/D (AM)	I

2023年8月9日～25日の例
(月曜日は教授回診があり活動は行わなかった。)

対象 医学科1～4年生
日程 学生の夏休み・冬休みに合わせて
募集人数 全日基本的に1名まで (学生の負担を配慮)
診療科 産婦人科・小児科 (NICU)
活動内容 病棟業務、外来業務の見学、帝王切開・分娩見学、婦人科領域一般知識のレクチャーなど

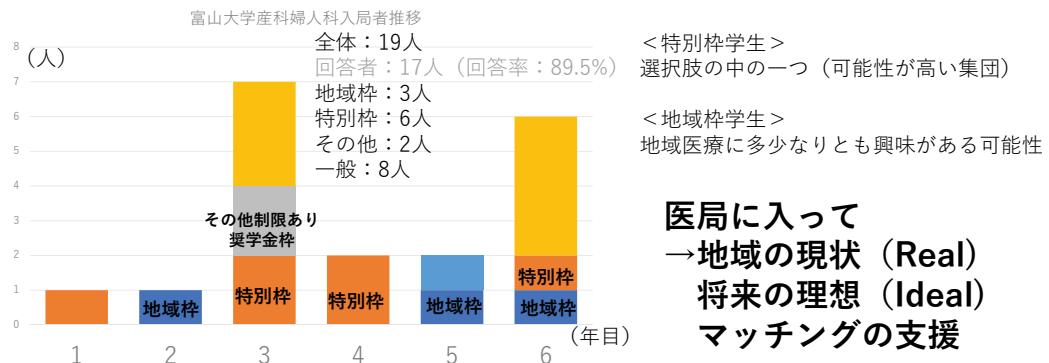
公式LINE(登録者数112名)で募集
NICU医師と連携をとって、周産期に従事する医師の確保を目的
2023年夏は参加者13名

貴重な体験であった。先生方と1対1だったため質問がしやすかった。勉強のモチベーションがすごく上がった。
など、参加者のフィードバックも良好であった。



課題克服への取り組み

☆富山大学産科婦人科の地域枠・特別枠☆



➡ 一般入学制よりも選択肢に入りやすい集団としてターゲティング



アンケート解析：奨学金・入学枠の有無による動機の違い



➡ 様々なロールモデルとそれを伝える機会の更なる提供



種まき → 発芽 → 開花 → 満開へ

医学部
1 - 3 年生

医学部
4 - 6 年生

研修医

富山大学
産婦人科
入局

赤ちゃんクラブ

臨床講義

臨床実習

臨床の実践
(内診・超音波・手術)

研究室配属

ハンズオンセミナー

学会および医局員との交流

継続的なかかわりキャリア形成支援

最後の課題・・・お金

富山県：厚生部・周産期医療対策協議会

✓ 富山大学附属病院 地域医療総合支援学講座
(富山県寄附講座：2017年度に設置、現在第3期目)

✓ 富山大学入学試験：特別枠・地域枠・富山県一般枠

✓ 富山大学産婦人科 (学会・医会・同門会)

➡ 医局がステークホルダー(富山県および産婦人科関連団体)の協力のもと
富山県のサステナブル産婦人科医療を目指しております！